

- ノーベル文学賞(1965 年)受賞作家 生誕 120 年記念出版
- 出版史上初の本文批判を経た確定テキストによるアカデミー版ショーロホフ著作集

アカデミー版 ショーロホフ著作集 全8巻

初の確定テキスト版 世界文学研究所編

モスクワ、「若き親衛隊」社、2025 年刊、全 3648 頁

Шолохов М.А.

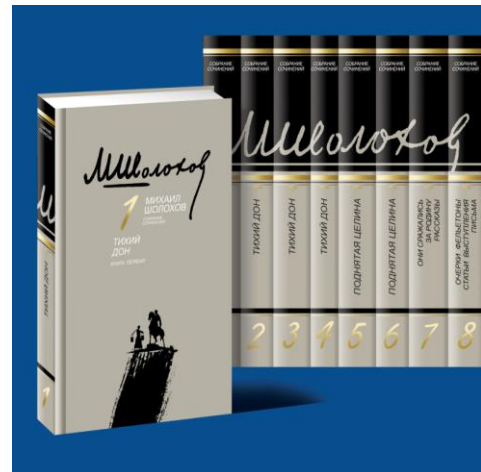
Академическое собрание сочинений. В 8 т.

Научное издание / Сост.-ред.: Группа текстологов ИМЛИ РАН.

М., <Молодая гвардия>. 2025. 3648 с. ISBN9785235052321. (R270605)

hard (8) ¥92,180.

- 本書は、ロシア出版史上初の〈本文批判を経て確立されたテキスト〉によるショーロホフ著作集です。原稿類との照合、膨大な諸版の比較検討などの「本文批判」に携わったのは、ロシア科学アカデミー・世界文学研究所の「現代ロシア文学・在外ロシア文学」部門の研究員です。本書は、その部門在籍のナタリヤ・コルニエンコ、ドヴォリヤシン、ヴォロンツォヴァらを中心に 21 世紀初めから展開された「ショーロホフ作品の学術的研究プロジェクト」の総括的な一大成果です。
- ミハイル・ショーロホフ(1905-1984)はソビエト最高会議議員をも務めた「ソビエト文壇の大御所」でしたが、「全集」がありません。その理由は、代表作の長篇小説『静かなドン』、『開かれた処女地』などソ連時代の諸版には誤植と、検閲による削除など、問題個所が非常に多く、学術的なテキスト・クリティークによる「本文の確立」が待たれていたからです。21 世紀になり、その要請に応えたのが上記の世界文学研究所の研究員たちでした。



- 研究員たちは、2003 年刊の『ショーロホフ書簡集』、『ショーロホフ新発見 研究・資料集』を皮切りに、数々のモノグラフ、資料類を刊行し、遂には『静かなドン』と『開かれた処女地』の本文批判校了版(「学術版」)の上梓に至りました(前者は全 2 冊で 2017 年刊、後者は 2022 年刊)。今回の「若き親衛隊」社刊の 8 巻もの著作集では、上記 2 大長篇については、この先行する「学術版」にもとづいています。
- 本書の構成
第 1～6 巻 『静かなドン』全 4 巻、『開かれた処女地』全 2 巻。
第 7 巻 『彼ら祖国のために戦えり』数章、『ドン物語』(連作短篇集)、『憎しみのおしえ』(短篇集)、『人間の運命』。
第 8 巻 オーチェルク(ルポ)、フェリエトン(風刺的時評)、論文、講演、書簡。